

鶴城中だより

文責
校長 田上明利
No. 7

「リスペクト」とは、 関わりのあるすべてを大 切に思うこと

「鶴城プライド」

去る八月二十九日に第二学期の始業式を行いました。四名の生徒による二学期の抱負発表の後、次のような式辞を述べました。

まず、鶴城中学校最後の生徒としての誇り「鶴城プライド」を持って

去る八月二十九日に行動することについて話をしました。「一滴のインクとなるなかれ、一輪の花となれ」の言葉を引用し、一人一人に責任ある行動をし、有終の美を飾るような行いをするよう促しました。

次に、鶴城中五つの生徒

夏休み あんな事こんな事

県中体連大会出場

7月21日・22日、県中体連大会剣道大会並びにソフトテニス大会が開催されました。

山鹿市代表として、本校は剣道一年の部に西川君、ソフトテニス男子個人の部に江藤・北原・ペアと塚本・大坪・ペアが参加しました。最後の最後まであきらめることなく善戦しました。

灯笼祭ソフトテニス大会

8月11日に行われた灯笼祭ソフトテニス大会に、1、2年生が出場しました。どのペアもよくがんばりました。男子の部で1年の竹田、成松・ペアが見事3位になりました。おめでとうございます。

像の中の「苦勞を惜しまず、あきらめない生徒」と「読む、よく読む、進んで読書する生徒」を特に頑張るよう励ました。

さらに、社会的自立に向けて、何でもかんでもすぐに大人（先生、保護者、地域の方など）に聞くのではなく、自分で情報を集めたり考えたりして、どうするか判断し、自分で決めたことを実行したり、他の人に説明したりするよう努力してほしいと話しました。いわゆる「思考力、判断力、表現力」を高めてほしいと願っています。

リサイクル活動

8月5日（日）、早朝からアルミ缶や新聞紙などをたくさん積んだ車が学校に集まってきました。保護者に協力していただき生徒たちが廃品回収をしました。

生徒数が少なくなつたため、各世帯を集めて回るのはではなく、各地区の公民館に出していただくものを回収するようにお願いをしました。校区の皆様のご理解とご協力

最後に、日本サッカー協会長の言葉を借りて、「リスペクト」について紹介しました。日本サッカー協会では、リスペクトを「関わりのあるすべてを大切に思うこと」ととらえ、仲間、ルール、施設、用具・道具、指導者、ゲーム、観客などすべてを大切に思い、行動に表すことを目標にしていること。そして、「リスペクト」することによつて、よりよい結果を出すことを目標にしていることを話し、このことを学校生活にも当てはめて行動しようと呼びかけました。

ようこそ先輩

8月20日、卒業生の話を聞く会を開き、高校生と二年生の先輩11名が全校生徒の前で、「高校生活で大変なことは？」「なぜその高校に行こうと思ったのか？」などの質問に答えてくれました。先輩方ありがとう。



親子奉仕作業

8月19日（日）、早朝から一時間の作業。生徒だけの手ではどうも無理なグラウンド周辺の除草を行いました。お忙しい中本当にありがとうございます。



陸上練習

30名余りの生徒たちを選抜し、夏休み期間中朝早くから練習を重ねてきました。猛暑の中の練習に耐えてきた生徒の顔は、日に焼け自信に満ちているようです。

なお、山鹿市中体連陸上大会は来る9月11日（火）午前8時20分から山鹿市カルチャースポーツセンターグラウンドで行われます。応援をよろしくお願いします。

おめでとう

8月26日に行われた剣道の昇段審査会で、3年の森本貴幸君が2段に、2年の立花樹君と大須賀良昭君が初段に合格。

9月8日に菊池市で行われる少年の主張熊本県大会に山鹿市の代表として3年の森本貴幸君が出場します。

11月3日〜10日オーストラリアのクーマ市への派遣研修に倍率約3倍の審査を突破し、3年の手島夏希さんと1年の平川詩織さんが選ばれました。
